

北海道

シニア災害ボランティア セミナー開催報告

平成28年1月18日（月）、北海道庁別館地下1階大会議室にて北海道と当協会主催による「シニア災害ボランティアセミナー」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して北海道総務部長の笠置隆範氏と当協会理事長の大竹邦実が挨拶し、続いて東北福祉大学・大学院教授の小松洋吉氏による基調講演と、とかち防災マスターネットワーク代表の青木達彌氏による事例報告が行われました。

基調講演

13:40～14:40

シニア世代のボランティア活動

東北福祉大学・大学院

教授 小松 洋吉氏

事例報告

14:50～15:30

とかち防災マスターネットワークの取り組みについて

とかち防災マスターネットワーク

代表 青木 達彌氏



基調講演では、まず、「結」の文化について絆の大切さを講演いただき、「ささやかな行いでも少しばかりの役に立てるかもしれない」というボランティアの精神をお話しいただきました。続いて、「防災から減災」では、日常の地域社会のシステム作り、持続的な活動の定着化が重要であることをお話しいただきました。また、「多様なボランティア活動」「Xデーに備えて」「やさしい地域づ

くりを目指して」等、あらゆる角度から防災、ボランティアについて講演いただき、最後に『ハチドリのひとつく』を朗読され、「私は、私のできることをしているだけ」とボランティアの原点をお話しいただきました。

事例報告では、とかち防災マスターネットワークの立ち上げからお話しいただき、(1) 防災啓発活動等の実施、(2) 災害図上訓練(DIG)等への参加、(3) 町内会・教育機関などで講演、(4) 各種訓練等への参加、(5) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンへの登録等、活動内容について紹介いただきました。



青木 達彌 氏

とかち防災マスターネットワーク 代表
北海道札幌市出身。民間の建設会社勤務を経て、広尾町役場に勤務。建設課長、消防本部消防長など、広尾町における防災対策の幹部として活躍。阪神・淡路大震災の際は、休暇を取得し現場に入る。定年後、防災マスターネットワークを立ち上げ、防災教育の普及啓発に取り組んでいる。



小松 洋吉 氏

東北福祉大学・大学院教授
秋田県出身。東京大学文部教官(助手)を経て、現職。宮城県防災教育指針作成協議会委員宮城県老人クラブ連合会理事、仙台市災害時要援護者支援プラン検討会議委員長などの要職を歴任。平成18年度総務省消防庁「第11回防災まちづくり大賞」一般部門で総務大臣賞受賞。